

## 公開学習会

### 「行きたい学校に入学したい!～トランスジェンダー学生を取り巻く問題～」実施報告

性の平等に関する委員会委員 小沼 千夏 (66期)

## 1 概要

2023年3月10日(18時～20時30分)オンラインにて、性の平等に関する委員会セクシュアル・マイノリティプロジェクトチームは、トランスジェンダーの学生を大学で受け入れるにはどのようにすればよいのかを考えるため、「行きたい学校に入学したい!～トランスジェンダー学生を取り巻く問題～」をテーマに公開学習会を開催した。前半は、委員からの基調講演の後、トランスジェンダー女性の受け入れを表明した日本女子大学において学内の議論を牽引された小山聡子教授、大学として初めてトランスジェンダー学生にかかるガイドラインを制定した筑波大学において「LGBT等に関する筑波大学の基本理念と対応ガイドライン」の策定を担われた河野禎之助教、そしてトランスジェンダー当事者としてRainbow Tokyo 北区代表であり、プライドハウス東京のメンバーとして活動を行われている時枝穂氏にご講演いただき、後半はパネルディスカッションを行った。

## 2 講演

市川尚副会長(当時)の挨拶の後、本多広高会員、時枝穂氏、河野禎之助教、小山聡子教授が順に講演を行った。本多会員は、性別についての法と現実について概説した。時枝氏には、トランスジェンダーの当事者として、性のゆらぎや大学生活の困りごとなど、ご自身がご経験された様々な困難についてお話しいただいた。

河野助教には、筑波大学におけるガイドラインの策定に関し、支援の意義や現状についてお話しいただいた。

小山教授には、日本女子大学におけるガイドライン策定の中で大切にしたいことや経緯についてお話しいただいた。

## 3 パネルディスカッション

講演に続いて、講師3名と金城美江委員とのパネルディスカッションが行われた。学内手続きにおける性同一性障害の診断書の要否、学籍上の性別変更を戸籍上の性別変更より先行させるか否か、相談窓口の在り方、秘密保持と

性の平等に関する委員会 公開学習会  
行きたい学校に入学したい!  
～トランスジェンダー学生を取り巻く問題～

2023年3月10日(金) 18:00～20:30  
Zoomウェビナーによるオンライン開催  
【事前登録制】  
チャットでの質問も受け付けます

参加費 無料  
お申し込みは 3月7日まで

主催 委員会 (日本女子大学 教務部)  
共催 時枝 穂氏 (筑波大学人間学専攻)  
後援 藤 氏 (Rainbow Tokyo北区 代表)

※Zoomアプリを事前にダウンロードしてください

〒100-8302 東京都千代田区千代田1-3 TEL:03-3581-2205

学内の情報共有、居場所づくり、個別的な対応の重要性と難しさ、大学生活のその先の就職活動などについて、各大学の考え方や実施状況、課題、そして、それらを当事者、学外の支援団体として時枝氏はどう感じるか、何をハードルと感じるか、どうあれば良いと思うか等について意見交換が行われた。

## 4 まとめ

パネルディスカッションの後、山本真由美本委員会委員長(当時)の総括をもって本学習会は終了した。

今回は、小山教授や河野助教のご講演により、大学におけるトランスジェンダー学生の困難に関する熱心な取り組みを非常に多角的に知ることができた。そこにトランスジェンダー当事者である時枝氏の見解が加わることで、より一層深い知見を得ることができた。

2022年度もオンライン形式によったが、参加者は2021年度に引き続き36名という多数に上った。ウェビナーの機能を利用したアンケートの回収率は約60%で、回答者の約80%から「とてもよかった」又は「よかった」との評価を頂いた。2023年度以降も引き続き、セクシュアル・マイノリティに関する知見を深めることができる公開学習会を開催していきたい。